

平成 26 年度 公益財団法人とやま国際センター事業報告

I 国際化促進事業

(計画額 198,955千円 実績額 137,716千円)

1 国際交流事業

(計画額 4,469千円 実績額 2,772千円)

新(1) とやま国際センター創立 30 周年記念式典

(公財)とやま国際センター創立 30 周年を記念し、式典(表彰式を含む)、講演会を行い、関係者等と 30 周年の歩みを振り返った。

- 時 期：11月29日(土)
- 場 所：タワー111 スカイホール
- 参加者数：国際交流団体関係者及び一般県民等 約300人
- 表 彰 者(50音順、敬称略)

- ・富山県部門功労表彰(国際交流功労)

稲垣 俊吉
林 和夫

- ・とやま国際草の根交流賞表彰

個人5名

市森 武
梶 義己
神保 正
宋 勇
永原 碩子

団体6団体

アレッセ高岡(高岡外国人の子どものことばと学力を考える会)
高岡市卓球協会
高岡市日中友好協会
富山市立富山外国語専門学校
南砺市福紹会
日本語教室 in 黒部

- 記念講演

講 師：手嶋 龍一氏(外交ジャーナリスト・作家)

テーマ：「動乱の東アジア情勢と日本の針路」



(2) 草の根国際活動助成

民間レベルの国際交流、国際協力及び多文化共生活動を奨励するため、国際交流団体等の自主的な活動に対し助成を行った。(単位:千円)

団体名	事業名	助成金額
Toyama AJET (トヤマ エージェット)	映画「ハーフ」の自主上映会・多文化共生ディスカッション	23
おりがみ“遊々”の会	日韓おりがみ交流会	95
NPO 法人高岡鳩の会	渤海大学日本語弁論大会	98
富山国際大学国際交流サークル	ムラボリ寄り添いタイ	100
南砺市日中友好教育会	福光中学生中国友好訪問派遣事業	71
計	5団体	387

(3) 国際交流フェスティバル

国際交流や国際協力などに取組む県内の団体の日頃の活動等を紹介するとともに、県民が異文化に触れ合う機会を提供した。

時期:11月9日(日)

会場:CICビル内

参加者数:延べ約5,600名(26団体)

主催:国際交流フェスティバル2014実行委員会



2 国際協力事業

(計画額 68,141千円 実績額 63,862千円)

(1) 海外研修員等の受入

ア 海外技術研修員

開発途上国等に対する技術協力の一環として、富山県が受け入れる海外技術研修員の滞在中の日常生活等を支援した。

国名	人数	受入期間	研修機関
アルゼンチン	1名	6カ月	コミュニグラフ株式会社
ロシア	1名	6カ月	富山市民国際交流協会
	1名	3カ月	有限会社トヤマ・ヤポニカ
中国	2名	6カ月	・富山県環境科学センター、(公財)環日本海環境協力センター、株式会社アイザック ・富山情報ビジネス専門学校
	1名	3カ月	立山黒部貫光株式会社

イ 多文化共生推進研修員

ブラジル人児童の学習支援のため、富山県が受け入れる多文化共生推進研修員の滞在中の日常生活等を支援した。

国名	人数	受入期間	研修機関
ブラジル	1名	6カ月	高岡市立野村小学校



(2) 外国人留学生への支援

ア 県費留学生の受入

富山県が県内の大学へ受け入れる留学生に対して滞在中の日常生活等を支援した。

区分	人数	受入期間	留学先
ロシア沿海地方留学生	1名	平成26年4月1日～27年3月25日	富山大学
中国遼寧省留学生	1名	平成26年4月2日～27年3月21日	〃
南米留学生	1名	平成26年4月2日～27年3月27日	〃
県立大学遼寧省留学生	1名	平成26年4月9日～27年3月21日	富山県立大学

イ 私費留学生への支援

(ア) 富山県国際交流奨学金の交付

県内の大学等に在籍する私費留学生のうち、成績が優秀で国際交流事業等へ参加の意思がある学生に対し奨学金を支給した。また、専門学校等で日本語を学ぶ学生に対し奨学金を支給した。

大学等在籍者	1年生	月額10千円支給	支給者数	12名
	2年生以上	月額50千円支給	支給者数	23名
日本語教育機関の学生		月額3千円支給	支給者数	62名

(イ) 国民健康保険の加入助成

私費留学生及び日本語教育機関の学生の国民健康保険加入促進のため助成金を交付した。

- ・助成額：年額12千円（本人負担分の約2/3）
- ・支給者数：私費留学生 237名
日本語教育機関学生 59名

(ウ) 留学生の住宅確保への支援

留学生が安定した居住環境で生活が営めるよう、住宅の賃貸借契約を行う際にとやま国際センターが連帯保証人となった。

引受件数 45件

(3) NOWPAPへの協力

国際連合の機関であるNOWPAP（北西太平洋行動計画）地域調整部富山事務所の活動が円滑に運営されるよう支援した。

(4) 青年海外協力隊事業への支援

青年海外協力隊をはじめとするJICAボランティア事業の帰国報告会の開催を支援した。

- ・青年海外協力隊富山県OB会活動補助金 80千円



(5) 海外移住者及び関連団体への支援

- ・在外県人会活動費補助金 1,270千円（ブラジル、アルゼンチン、ペルー）
- ・南米協会活動費補助金 1,000千円
- ・海外移住家族会活動費補助金 4,746千円

3 多文化共生事業

(計画額 6,386千円 実績額 5,693千円)

(1) 外国人のための生活相談等の実施

ア 生活相談

県内で暮らしている外国人が日常生活に必要な情報や個人的な悩み等を母国語で相談できるよう外国人の生活相談員や国際交流員を配置し、面談又は電話で対応した。

(対応言語) 英語、中国語、韓国語、ロシア語、ポルトガル語、ウルドゥ語

(相談実績件数)

内容 国籍	情報	保険	在留	教育	医療	福祉	税金	労働	婚姻	法律	住宅	交通 事故	その他	合計
ブラジル	30	8	14	7	23	10	5	6	5	3	7	2	3	123
ロシア	9	1	2							1				13
中国	3			1					2	1				7
ペルー	1	1	1		1									4
パキスタン	2		1											3
その他	16	2	2	1	3	2	1		7		1			35
合計	61	12	20	9	27	12	6	6	14	5	8	2	3	185

イ 電話通訳サポート

生活相談をリアルタイムで解決できるよう、三者通話機 (NTTトリオフォン) を活用し具体的な照会先となる関係機関等と相談者の通訳サポートを行った。 利用件数：23件

(2) 外国人のための日本語学習支援ボランティアの育成・支援

ア 日本語ボランティア養成講座

外国人の日本語学習を支援するボランティア養成のための講座を開催した。

開催場所：①南砺市福光公民館、②黒部市国際文化センター・コラーレ

開催時期：①6月29日～8月3日、②8月23日～10月18日

開催回数：①②各5回ずつ

受講者数：①10名、②12名 計22名

イ 日本語教室アドバイザーの派遣

地域日本語教室へ日本語教育専門アドバイザーを派遣し、安定的運営とスキルの向上を図った。

派遣実績：太閤山日本語グループ	12回
日本語教室 in 氷見	9回
日本語教室 in 黒部	12回
にほんご広場 in なんと	13回
魚津日本語ボランティア教室	4回



(3) 外国語の絵本よみきかせ親子の会の開催

外国語の絵本の読み聞かせを通して、外国籍の子どもには母国語や母国の文化に接する機会を提供し、日本人の親子に対しては海外の文化に出会う機会を提供した。

時期：4月～3月 毎月第2土曜日 (9月、10月のみ第1土曜日)

開催回数：12回 (英語 (9回)、中国語 (1回)、ロシア語 (1回)、ポルトガル語 (1回))

会場：環日本海交流会館

参加者数：延277名

(4) ラジオ番組「BOUSAI RADIO」による防災情報の提供

地震や台風など災害に関する防災情報をやさしい日本語、中国語、英語、ポルトガル語で提供するラジオ番組「BOUSAI RADIO」を放送した。

毎月第1・3土曜日 午後9時55分から5分間、FM とやまで放送

新(5) 外国人への防災スポット放送事業

災害時における外国人支援ボランティアの募集や防災訓練の案内等について多言語（日本語、英語）で広報した。

40秒のスポット放送を1局当たり18回放送

時期 6月、8月、9月

KNB ラジオ、FM とやま

(6) 災害時の外国人支援のための防災訓練事業

ア 災害時外国人支援（やさしい日本語）ボランティアの養成

災害時における「やさしい日本語」による情報提供等研修会を県内日本語教室4か所で実施した。

時期：6月14日～7月26日

開催回数：4回

参加者数：63名（日本語教室運営日本人サポーター等 40名、外国人参加者 23名）

会場：南太閤山コミュニティセンター、氷見市いきいき元気館、南砺市福光公民館、黒部市国際文化センターコラーレ

イ 災害時外国人支援（多言語）ボランティアの養成

災害時における「多言語」での通訳、翻訳による情報提供研修会を実施した。

時期：7月6日（日）

会場：環日本海交流会館

参加者数：20名



ウ 広域連携による実施訓練（石川県及び石川県国際交流協会と共同実施）

大規模災害時における石川県と連携した「災害時多言語支援センター」等運営訓練を実施した。

時期：8月2日（土）

会場：石川県地場産業振興センター

参加者数：40名（富山県11名、石川県29名）

エ 富山県総合防災訓練への参加

富山県総合防災訓練において「災害時多言語支援センター」等運営訓練を実施した。

時期：9月7日（日）

会場：黒部市総合公園メインアリーナ

参加者数：18名



新（7）外国人住民と日本語学習支援ボランティアのための防災学習

外国人住民や日本語学習支援ボランティアに対して防災意識の啓発を図るため、仙台防災研究所から講師を招いてワークショップを行った。



時期 12月7日（日）
 場所 環日本海交流会館
 内容 外国人住民と日本語ボランティアのための防災学習
 ー災害対応カードゲーム「クロスロード」を使ったワークショップー
 講師 仙台防災学習研究所 所長 古橋 信彦氏
 参加者数 18名（内外国人住民 5名）

4 国際理解・研修事業

（計画額 3,672千円 実績額 1,928千円）

（1）語学講座の開催

講座名	コース	期間	回数	対象	受講者数
中国語	入門	5/19～3/16	36回	初心者	10名
	初級	5/23～3/13	40回	経験者（1年程度）	10名
	中級	5/21～3/18	39回	基礎修得者	10名
韓国語	入門	5/20～3/10	36回	初心者	38名
	初級	5/22～3/12	39回	経験者（1年程度）	22名
	中級	5/21～3/11	39回	基礎修得者	16名
ロシア語	入門	5/22～3/12	40回	初心者	10名
	中級	5/23～3/13	40回	基礎修得者	12名
ポルトガル語	初級	5/19～3/16	35回	基礎修得者	8名

会場：とやま国際センター研修室

（2）国際理解出前講座

地域の国際交流協会や小中高校、大学などからの要望に応じて現場へ出向いて講座を開催し国際交流・国際理解・国際協力を促進した。

開催回数：57回

参加者数：延べ2,965名

講師：国際交流員、JICA職員、とやま国際理解教育研究会、青年海外協力隊OBなど



（3）国際交流サロン イングリッシュ・チャット

県民と県内で暮らす外国人ゲストが自国の文化や日頃感じていることなどを英語で自由に語りあった。

開催回数：21回

参加者数：延べ538名

会場：とやま国際センター談話室

(4) とやま国際塾

各国からの国際交流員、海外技術研修員、留学生との交流などを通じて、高校生の国際感覚の醸成を図るとともに、国際交流、国際協力や多文化共生に関心を高めてもらった。

時 期：7月19日(土)～20日(日)

参加者数：高校生31名

会 場：呉羽青少年自然の家、他



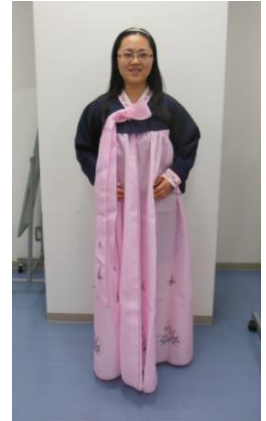
(5) 市町村職員等国際協力実務研修

各市町村事業担当課長及び実務担当者を対象に、富山県、JICA 北陸支部及び当財団の平成26年度国際交流・協力、多文化共生関係事業等の概要について説明した。

時 期：6月5日(木)

参加者数：28名

会 場：環日本海交流会館



(6) 国際理解のための教材、国旗及び民族衣装の貸出し

(貸出実績)

教 材： 2件(2団体)

民族衣装：130件(16団体)

国 旗： 90件(21団体)

5 情報サービス事業

(計画額 2,294千円 実績額 2,250千円)

(1) 情報紙の発行

ア 「What's Happening」

内 容：県内で開催される各種国際交流イベントや国際交流事業等を紹介した。

発行言語：英語、中国語、韓国語、ロシア語、ポルトガル語、日本語

発行部数：隔月 2,100部

イ 「TIC NEWS」

内 容：県内の国際交流・国際協力に関する情報、国際交流団体の活動、海外からのレポート、とやま国際センターの事業等を報告した。

発行部数：年4回 各2,000部



新(2) 多言語メールマガジン情報提供

内 容：外国人住民などに幅広く国際交流事業、イベント情報、生活情報、防災情報等を提供する多言語メールマガジンを配信した。(平成27年年2月配信開始)

対応言語：英語、中国語、韓国語、ロシア語、ポルトガル語、日本語

配信回数：2回(2月、3月)

登録者数：20名(平成27年3月末)

(3) 国際交流人材バンク

ア 国際交流人材の登録と紹介

(紹介実績)

区 分	件数	内 訳 (人)	
通 訳 者	25件	英語(8) 中国語(6) 韓国語(5) ロシア語(3) ベトナム語(1) 等	計: 49名
翻 訳 者	30件	英語(16) ロシア語(3) スペイン語(2) ポルトガル語(2) 等	計: 31名
通訳・翻訳者	2件	韓国語(1) 中国語(1)	計: 2名
ホストファミリー	6件	利用者の国籍 中国(3) ブラジル(2) フィリピン(6) 等	計: 15名
海外事情紹介者	12件	北米(8) インドネシア(1) 等	計: 12名
日本語指導者	2件	利用者の国籍 パキスタン(2)	計: 2名

イ 通訳者の資質向上のためのセミナー開催

ロシア語通訳者を対象としたレベルアップのためのセミナーを開催した。

時 期: 9月20日(土)

会 場: 環日本海交流会館

受講者数: 30名

内 容: “実例で研究 ー情報通訳論の基本ー”

講 師: 徳永 晴美 氏 (外務省研修所ロシア語講師)



6 環日本海交流会館管理運営事業 (計画額 12,287千円 実績額 12,206千円)

(1) 施設管理運営費

県民と外国人の交流の場、国際交流団体やボランティアの自主的な活動の場、留学生や研修生等の活動の場として運営を行った。国際交流・国際協力に関する図書などの情報媒体を活用し、富山県をはじめ諸外国の情報提供を行った。

また、新たに来館者が館内でインターネット等を無料で利用できる無線LAN(Wi-Fi)を設置した。

・総利用者数 28,809名

一般利用者数

区 分	午 前	午 後	夜 間	合 計
人 数	6,617	6,581	4,341	17,539

会議室利用者数

1,247件 11,270名 (うち、大会議室利用 159件 4,129名)

図書、DVD等の利用件数

区 分	図 書	DVD	CD
件 数	1,775	451	60



7 富山県大連事務所運営事業 (計画額 27,658千円 実績額 25,745千円)

(1) 経済交流の推進

ア 訪問・来訪等による情報収集等 延343件

- ・訪問…180件 (日系の企業等 96件、中国企業等 84件)
- ・来所…163件 (日系の企業等 98件、中国企業等 65件)

イ 各種ミッション等に対する協力・支援

- ・旅行エージェント大連研修旅行への支援、ポートセールス訪問団への支援、環日本海経済交流センター訪問団への支援、地方銀行合同商談会参加の支店長団への支援 ほか

ウ 各種商談会、セミナー等の調査・視察

- ・大連地銀合同商談会、中国国際ソフトウェア及び情報サービス交易会、中ロ農機産品展示商談会、日中地域間交流推進セミナー ほか

エ 観光客の誘致

- ・中国の旅行会社等との面談、情報収集、PR等
- ・「瀋陽旅遊交易会」、「MA-TSU-RI2014 (大連)」、「大連日本商品展覧会」、「天皇誕生日祝賀レセプション (瀋陽、大連)」等での観光PR活動

オ その他

- ・大連富山企業会の開催 (6月5日、9月17日、12月5日、3月23日)
セミナー、企業視察、意見交換会等の開催
- ・現地進出企業事前調査に対する支援
- ・地酒の販売促進、新規輸出に係る支援
- ・富山ー大連便の利用促進についての連絡調整、増便交渉等に係る支援
- ・ものづくり総合見本市の勧誘・問い合わせ対応

(2) 各種交流事業への支援

ア 学術研究交流団等の来訪時の研修・説明等への協力

- ・遼寧バレエ団バレエダンス学校の富山訪問、遼寧省の富山からの作品輸送支援、県内小学生のとやま国際こども記者派遣事業への支援、県内大学生の企業実務研修への支援、県内高校生の北東アジア地域環境体験プログラムへの支援 ほか

イ 要人等の来訪時の対応

- ・現地進出企業代表取締役等の来連対応

ウ 友好交流事業への協力

- ・友好提携30周年記念・友好代表団事前訪問団及び訪問団への支援
- ・大澤瀋陽総領事の来県対応への支援



(3) 富山ファン倶楽部の活動

- ア 総会の開催 (10月20日 瀋陽)
- イ 大連富山企業会と富山ファン倶楽部会員との交流会の開催 (12月5日 大連)
- ウ 富山ファン倶楽部会員との交流会の開催 (1月8日 瀋陽)
- エ 会員への富山県情報の提供
- オ 会員名簿の更新、新規会員の加入促進 (会員数366名 (3月末時点))

(4) その他

- ア 当事務所開設10周年記念レセプションの実施 (10月21日 大連)

Ⅱ 日本海学推進事業

(計画額 7,857千円 実績額 7,786千円)

1 日本海学講座

先史時代の初期農耕を考える ーレプリカ法の実践からー	長野県考古学会会員 中沢 道彦	6月14日 (土)	参加者 63名
日本海のヒラメ稚魚に学ぶ森里海連関学 ー人と自然を紡ぎ持続社会を拓くー	京都大学名誉教授 田中 克	8月30日 (土)	73名
明治時代の外国人が見た立山信仰	富山県立山博物館学芸課 主任 高野 靖彦	10月25日 (土)	43名
環日本海地域の経済状況 ー中国東北部との関連からー	福島大学経済経営学類 准教授 朱 永浩	12月20日 (土)	54名

2 日本海学シンポジウム

- 時 期：2月14日(土)
会 場：北日本新聞ホール
参加者数：230名
テ ー マ：「つながる海、世界の海から日本海、そして富山湾」
講 師：秋道 智彌 氏 (総合地球環境学研究所名誉教授)



3 大学講座等推進事業

	内 容	受講者数
富山大学	総合科目特殊講義「日本海学」に川村隆一氏 (九州大学教授) ほか2名を派遣	約100名
富山国際大学	「環境デザイン特別講義」に吉田尚郁氏 ((公財) 環日本海環境協力センター主任研究員) ほか2名を派遣	約40名
富山県立大学	「環境論 I」に和田直也氏 (富山大学極東地域研究センター教授) を派遣	約230名
	「富山と日本海」に大田希生氏 (水中カメラマン) ほか1名を派遣	約80名

4 日本海学研究グループ支援事業

助成実績 応募 16 件、助成 8 件、助成総額 2,097 千円

平成 25 年度助成分成果発表会 (9 グループ・個人)

時 期：5 月 17 日(土)

会 場：サンシップとやま 701 号室

5 環日本海学術ネットワーク特定テーマ研究支援事業

シンポジウム「北東アジア地域の森林資源と森林政策」

期 日：11 月 19 日(水)

場 所：富山国際会議場特別会議室

報 告 者：韓国からの共同研究者ほか 2 名

参 加 者：一般県民、研究機関研究者 42 名

Ⅲ 旅券関係事業

(計画額 41,656 千円 実績額 40,103 千円)

旅券の発給申請の受理及び交付事務の補助業務、旅券発給等に係る定期報告、統計資料の作成業務など旅券に関する業務を富山県旅券センター及び高岡支所で行った。

(旅券発行状況)

区 分	平成 26 年度(件)	平成 25 年度(件)	対比(%)
新規発給	21,921	23,235	94.3%
渡航先追加	0	0	—
査証欄増補	113	83	136.1%
訂正	0	366	—